

## 2016年4月17日 IBEX84 便に対する運輸安全委員会からの最終報告について

2016年4月17日（日）に運航いたしました IBEX84 便（福岡発小松行）は、小松空港悪天候の為、福岡空港へ引き返す飛行の途中、エンジン抽気系統（機内に空気を送るシステム）の不具合が発生したことによる航空機内の気圧の低下を示す計器表示があった為、航空交通管制上の優先権を要請し福岡空港に着陸しました。当該便ご搭乗のお客様をはじめ、関係先の皆さまにご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

本件は、国土交通省航空局より「重大インシデント」に認定され、事象発生以降、国土交通省運輸安全委員会を中心に調査が進められ、本日その最終報告書が公表されました。報告書によりますと、本事象は左右のエンジン抽気制御システムがエンジンの抽気漏れを検知した為、機内に送る圧縮空気の供給を停止し、客室内の高度が上昇したことによるものと推測され、その原因については、エンジン抽気制御システムが誤作動した可能性、実際にエンジン抽気が漏れていた可能性、エンジン抽気を検知するセンサーが誤作動した可能性が考えられましたが、結果として原因の特定には至りませんでした。

弊社としましては、事象発生以降において想定される全ての原因に対して、機体製造元であるボンバルディア社と連携し、エンジン抽気系統の健全性確認（※1）と当該不具合の予防措置（※2）に努めており、今後も同様の取組みを適宜実施することで安全運航を堅持してまいります。

※1 ① 抽気を検知するセンサーの取り付け状況および電気的特性の確認

② 抽気を検知するセンサーの接続部の水分混入防止策の実施

③ 抽気制御システムの改修型ソフトウェアへの更新

※2 抽気を検知するセンサーに対する定期点検の継続実施

2017年12月21日  
アイベックスエアラインズ株式会社